

事務事業評価シート

(H.28)No.	1268	(H.27)No.	1268
-----------	------	-----------	------

事務事業名	パーソナルカルテ推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	中森 早苗	

会計区分	事業コード	468301
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	パーソナルカルテ推進事業	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	パーソナルカルテ推進事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本施策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	3	特別支援教育
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
特別な支援が必要な子どもに関して、学校と連携しながら、子どものデータを構築することにより、保護者が子どもの様子を関係機関とつなぐことができ、途切れのない支援を一層進めます。
事業内容
平成24年度に「パーソナルカルテ検討委員会」を立ち上げ、名張市としてのパーソナルカルテの様式や運用についての検討を加え、平成25年度には、約300部を作成しました。毎年追加必要数を作成し、関係機関との連携の中でパーソナルカルテの運用を図ります。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	パーソナルカルテの作成(300部)	パーソナルカルテの作成(150部)	パーソナルカルテの作成(100部)	パーソナルカルテの作成(100部)	パーソナルカルテの作成(100部)
	パーソナルカルテ用紙、ファイル等消耗品 77千円 複写機使用料 73千円	需用費 39千円 使用料 34千円	需用費 25千円 使用料 25千円	需用費 25千円 使用料 25千円	需用費 25千円 使用料 25千円

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	143千円	73千円	50千円	50千円	50千円
内訳(千円)	国・県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 143	73	50	50	50
人工数	職員	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
	臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
②概算人件費	(0千円) 93千円	93千円	93千円	93千円	93千円
①+②総事業費	(0千円) 236千円	166千円	143千円	143千円	143千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
特別な支援が必要な子どもに関して、学校と連携しながら、子どものデータを構築することにより、保護者が子どもの様子を関係機関とつなぐことができきています。	途切れのない支援を行うために、今後もパーソナルカルテについて保護者に発信し、子どもの様子を関係機関とつないでいく必要があります。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	パーソナルカルテの活用により、保育所(園)・幼稚園・小学校・中学校・高等学校等との途切れのない積極的な連携や取組が行えるようになります。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	カルテの有効性や運用方法の検証を進め、一定の方向性が定まった段階で、関係機関との連携・協働の有り方について検討を行います。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に係る主な市の計画
支援が必要な子どもは、年々増加傾向にあるため、今後も継続実施していく必要があります。	第二次名張市子ども教育ビジョン ばりっすすくすく計画(第3次)